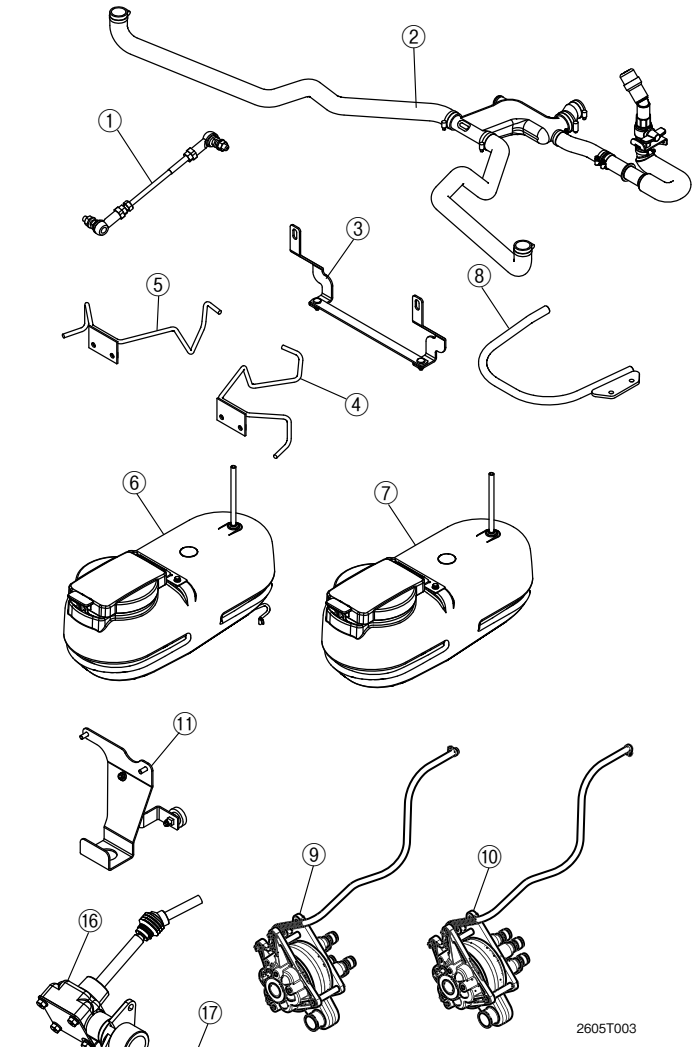
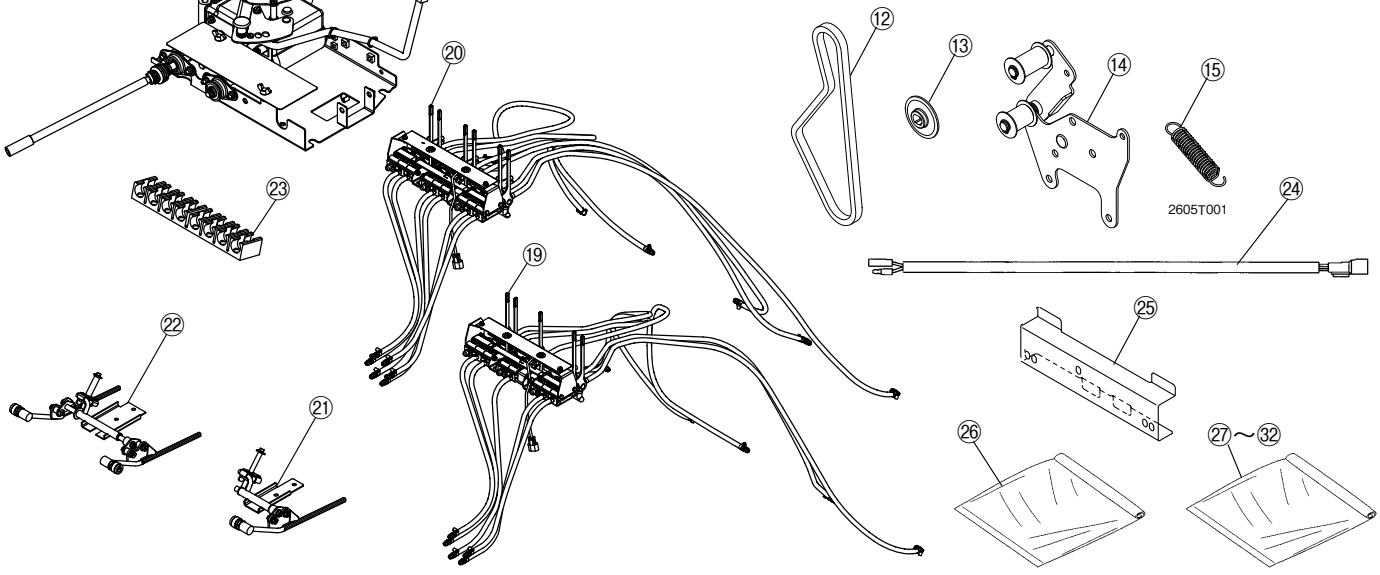
ペースト施肥機　PST-E5･E6型　取付け要領書

No.０３１６０９－２６０５０８５６００２

1．キット部品の確認

（一覧表と部品を照らし合わせてください。）

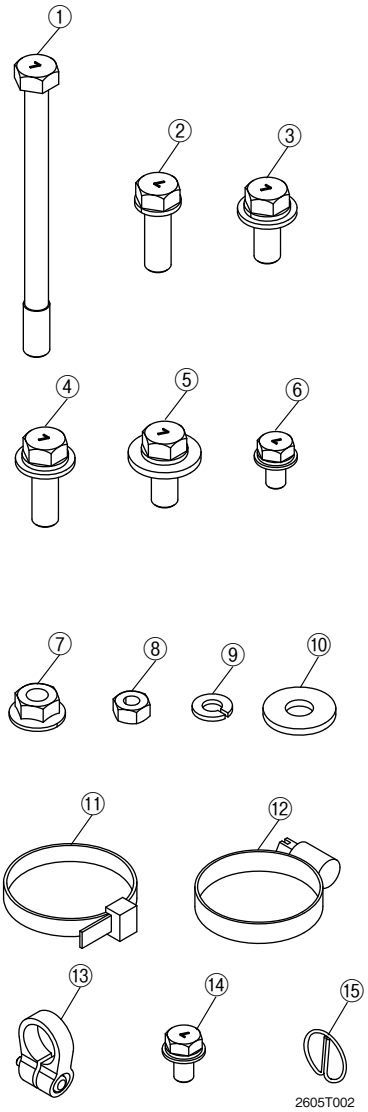




キット部品一覧表

部品名称			個数 5条型	個数 6条型
PTOクラッチ	ロッド組立品	①	1	1
タンク	ホースジョイント組立品	②	1	1
	ホースガイド組立品	③	1	1
	ホース支えガイドL	④	1	1
	ホース支えガイドR	⑤	1	1
	タンク組立品R	⑥	1	1
	〃　L	⑦	1	1
	ステー	⑧	4	4
ポンプ	ポンプ組立品A	⑨	1	－
	ポンプ組立品B	⑩	－	1
	ホースガイド	⑪	1	1
	チェン	⑫	1	1
	スプロケット20	⑬	1	1
	テンション組立品	⑭	1	1
	スプリング	⑮	1	1
ＰＴＯ	ＰＴＯ組立品	⑯	1	1
	スプラインジョイント	⑰	1	1
変　速	変速ケース組立品	⑱	1	1
インジケータ	インジケータ組立品A	⑲	1	－
	インジケータ組立品B	⑳	－	1
ノズル	ノズル組立品A	㉑	1	2
	ノズル組立品B	㉒	－	3
パイピング	ホルダ	㉓	1	1
電　装	リードワイヤ	㉔	2	2
ノズルゲージ	ノズルゲージ	㉕	1	1
取付部品	各種ボルト・ナット・バンド等	㉖	一式	一式
その他	施肥量マーク	㉗	1	1
	条止めマーク	㉘	1	1
	エア抜きマーク	㉙	1	1
	空運転厳禁マーク	㉚	1	1
	取扱いマーク	㉛	1	1
	取付要領書	㉜	1	1

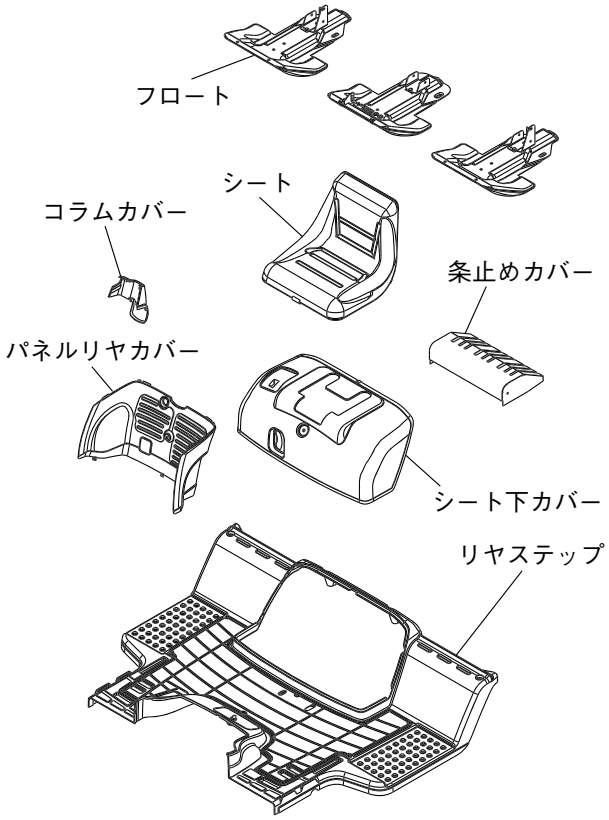
・取付部品㉖の内訳



No.	名称	サイズ	個　数
①	ボルト	M8×100	2
②	ボルト	M8×25	2
③	ボルト	M8×20	2
④	ボルト	M8×25	8
⑤	ボルト	M8×20	4
⑥	ボルト	M6×12	4
⑦	ナット	M8	10
⑧	ナット	M6	2
⑨	バネ座金	M6用	2
⑩	座金	ϕ22×t2.3	2
⑪	ワイヤバンド		14
⑫	ホースバンド		3
⑬	ホースクランプ		1
⑭	ボルト	M6×12	3
⑮	スプリングピン		1

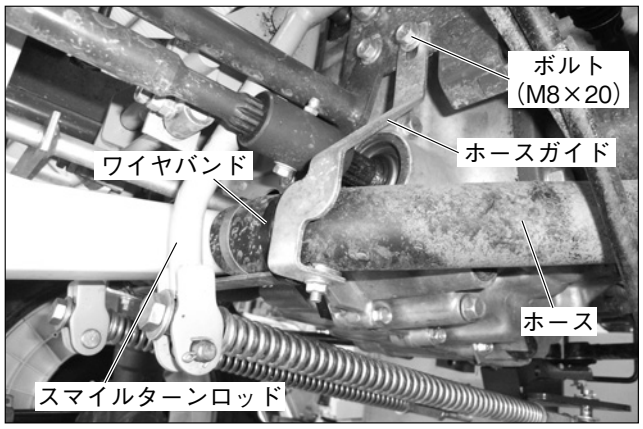
2．本機の準備

❶　コラムカバーを取外します。
❷　パネルリヤカバーを取外します。
❸　シートを取外します。
❹　シート下カバーを取外します。
❺　リヤステップを取外します。
❻　条止めカバーを取外します。
・大きなノブ（３個）を外して下さい。
❼　フロート（３個）を取外します。
※取外したノブ等は，無くさないように注意して下さい。

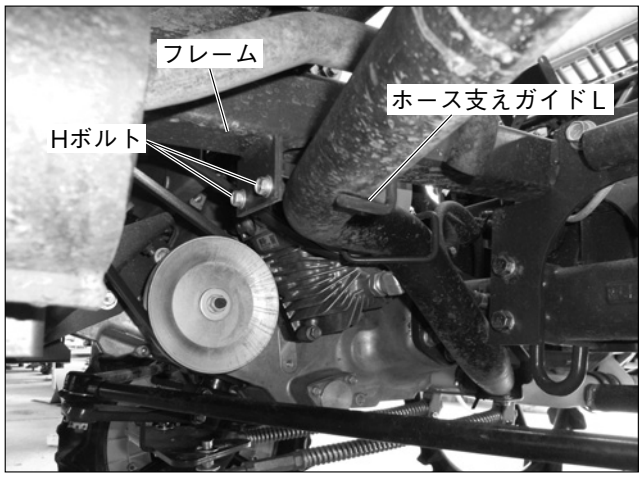


3．ホースジョイント組立品

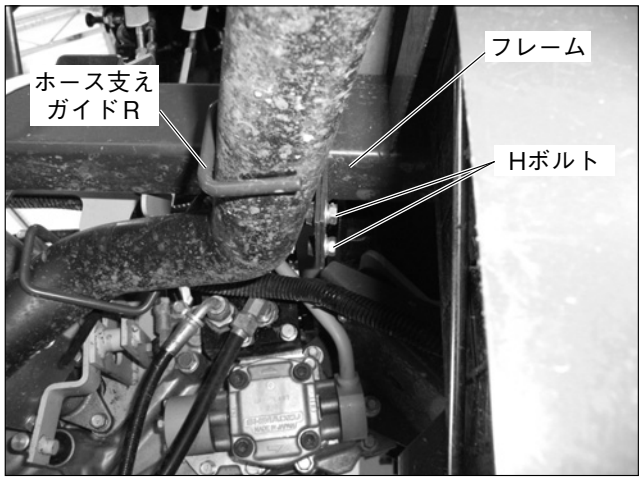
❶　サブタンク付きのゴムホースを，スマイルターンのロッド内側を通します。ホースガイドを下から挿入，ホースを支えるようにホースガイドをHボルト（M８×20）でフレームに左右仮付けします。
・スマイルターン取付ピンの割ピンを外し，ロッドを外しておくと作業が容易に行えます。
❷　ホースガイド組立品にワイヤバンドで２個所クランプし，後輪駆動ＰＴＯシャフトに当たらない位置でガイドを固定します。



❸　左側のホースにホース支えガイドＬを通し，左前輪奥のフレームにHボルト（Ｍ６×12）で固定します。

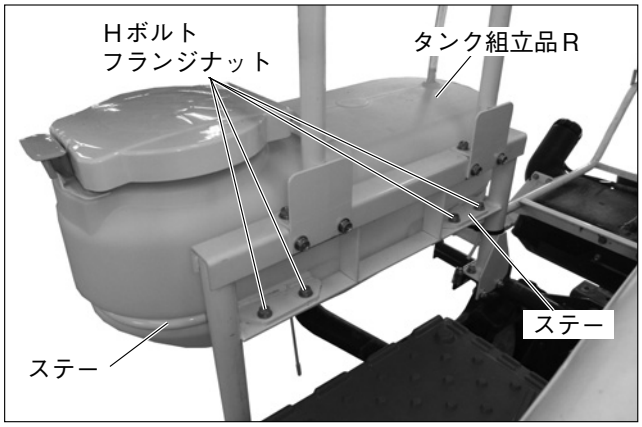


❹　右側のホースにホース支えガイドＲを通し，右前輪奥のフレームにHボルト（Ｍ６×12）で固定します。
・左右のホースが同じ高さになっていることを確認してください。
・ハンドルをいっぱいに切ったときに車輪およびドラッグリンクとホースが接触しないことを確認してください。

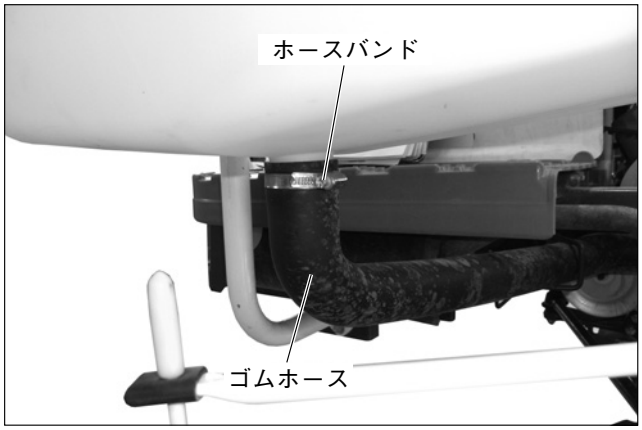


4．タンク組立品の取付け

❶　機体前方両側のフレームにタンク組立品Ｌ・Ｒをステー（片側２ヶ）とＨボルト（Ｍ８×25），フランジナット（Ｍ８）で取付けます。

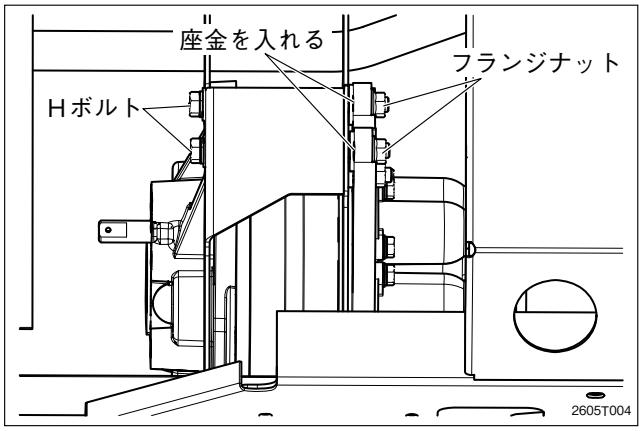


❷　タンクの排出口とゴムホースを結合し，ホースバンドで締付けます。

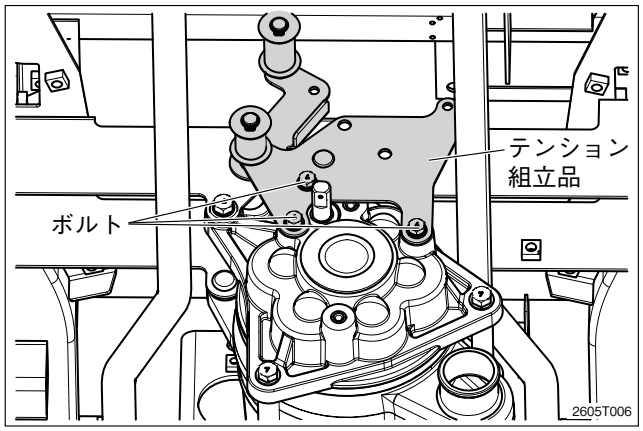


5．ポンプ組立品の取付け

❶　ポンプ組立品をフレームの後ろから引っかけるようにし，Ｈボルト（Ｍ８×16）・フランジナット・座金で取付けます。（座金はフレームのネジにあらかじめ入れておきポンプではさみ込みます。）

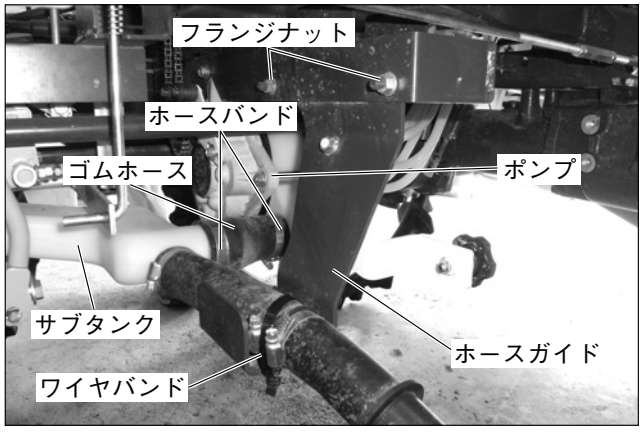


❷　ポンプにボルト（Ｍ６×12，３本）でテンション組立品を組付けます。

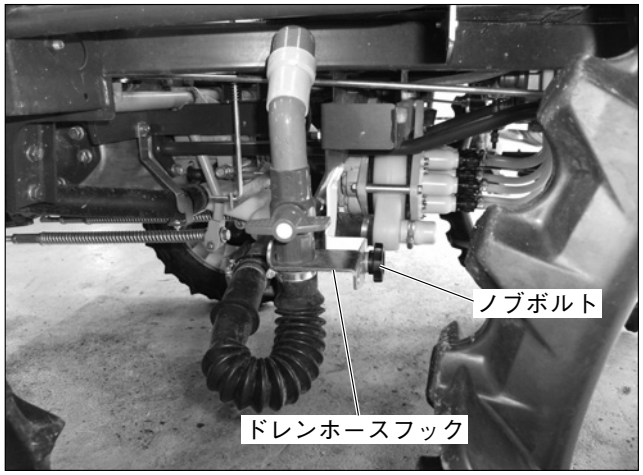


❸　サブタンクとポンプをゴムホースでつなぎ，ホースバンドで締めます。

❹　ホースガイドをフランジナット２ヶで取付け，ドレンホースがつぶれないようにワイヤバンドでホースガイドに固定します。

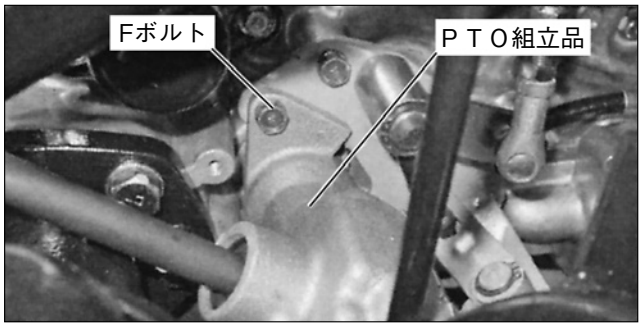


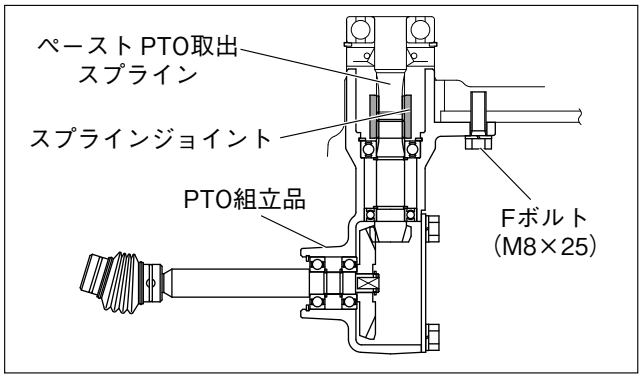
❺　ドレンホースフックをホースガイドのノブボルト部に固定します。



6．ＰＴＯ組立品の取付け

❶　ミッションケース横のペーストＰＴＯ取出口に，ＰＴＯ組立品をＦボルト（Ｍ８×25）で取付けます。シャフトのつなぎとしてスプラインジョイントを入れます。(スプライン部にはグリスを塗布します。)
※ＰＴＯ取出口が汚れている時は，掃除をします。

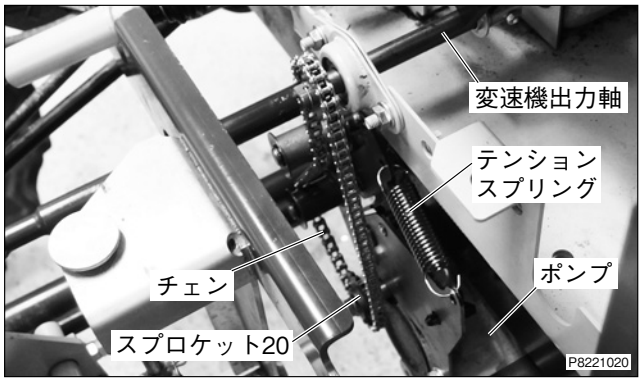


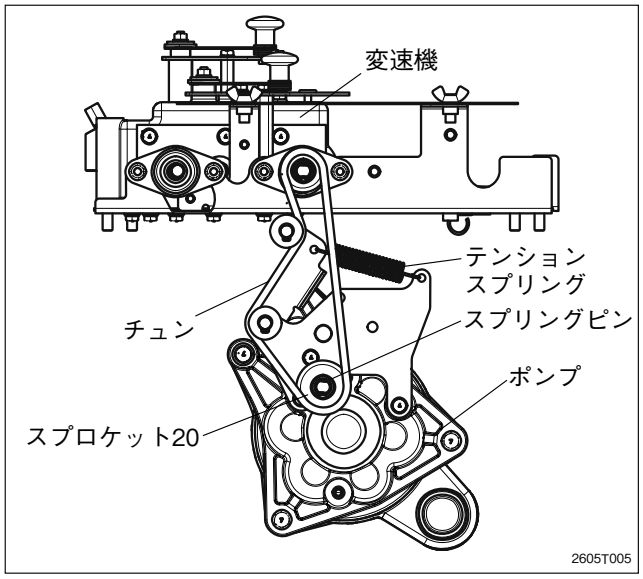


7．変速ケース，クラッチの取付け

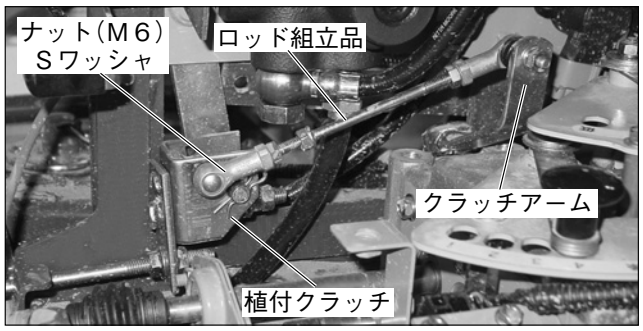
❶　変速ケースを，ボルト（Ｍ８×20，大径ワッシャ付き）でフレームの上に取り付けます。このとき，ＰＴＯのスプラインシャフトを変速入力軸に接続しておきます。(スプラインのジョイント部にはグリスを塗布します。)

❷　チェンとポンプ側のスプロケット20を変速機出力軸のスプロケットと組付けます。ポンプ側のスプロケットはスプリングピンで固定します。テンションスプリングを組付けます。



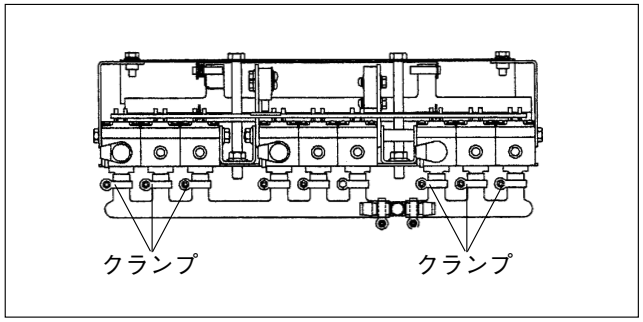


❸　植付クラッチ側面の穴と，変速ケースのクラッチアームをロッド組立品でつなぎ，植付クラッチ側だけＳワッシャ・ナット（Ｍ６）で固定します。(クラッチの調整は最後に行います。)



8．インジケータ組立品の取付け

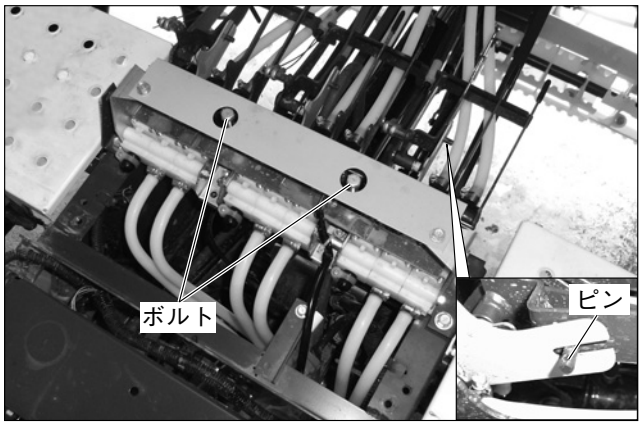
❶　インジケータの戻し配管の左右３ヶ所のクランプをゆるめ，戻し配管を取外します。



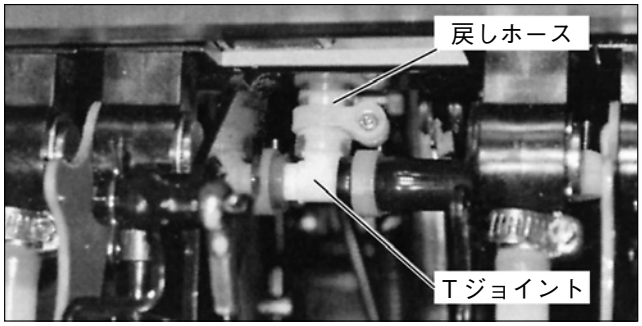
❷　条止めベースの上にインジケータを乗せます。このときホースを折らないよう注意します。ノズルに配管するホースをアッパーリンクの左右に振り分けておくと，後での作業が楽になります。

❸　条止めレバーのピンが，インジケータのプレート切欠部に入っていることを確認します（３ヵ所)。

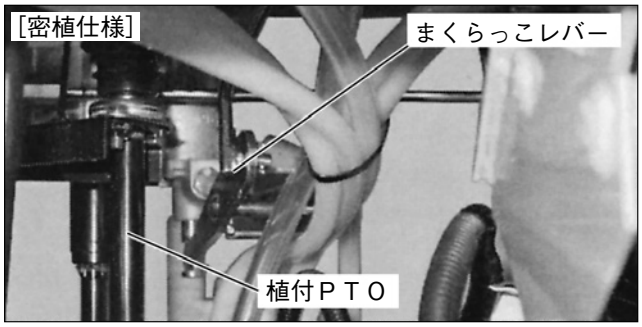
❹　ボルト（Ｍ８×100，ナット付き）でインジケータを固定し，最初に外した戻し配管を取付け，クランプで確実に締付けます。

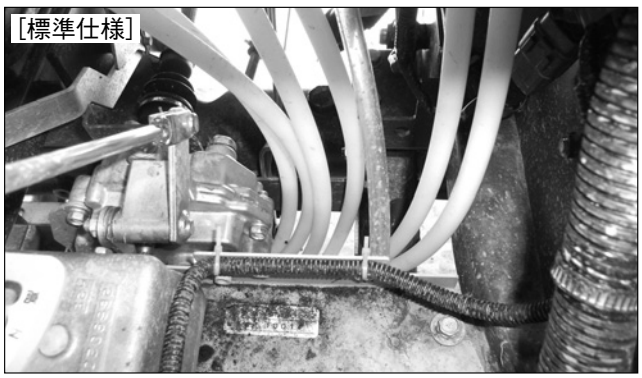


❺　ポンプの上部に配管してある戻しホースと，インジケータのＴジョイントを，ホースクランプを使って取付けます。



❻　ポンプのカプラとホースを接続します。このとき，植付ＰＴＯに当たったり，まくらっこのレバーにかみこんだりしないよう注意して下さい。配管の順序は７ページを参考にして下さい。

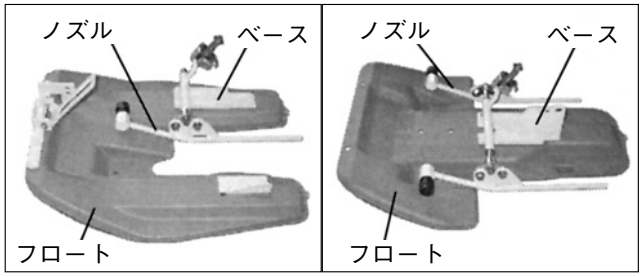




9．ノズルの取付け

❶　フロートからベースを外し，間にノズルを挟み込み，再びベースを取付けます。ベースの下にプレートが入っている時はプレートの下にノズルを挟み込みます。

❷　ノズルを取付けたフロートを，再び植付け部に取付けます。



10．ホースの配管

❶　ノズルのカプラにホースを配管します。配管の順序は，７ページを参考にして下さい。また配管時は次の点に注意して下さい。

・ＰＴＯシャフトとホースが当たらないように通します。

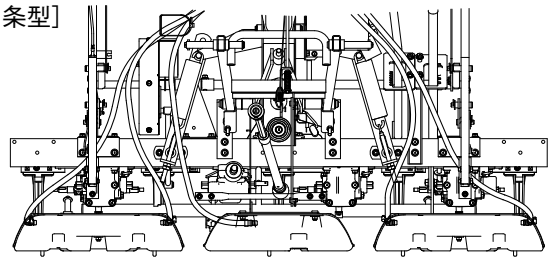
❷　油圧感知ワイヤに対するホースの配索は下記のように行います。

・油圧感知ワイヤに対し，ホースは機体内側（前進方向に対し，油圧感知ワイヤより左側）に配管します。

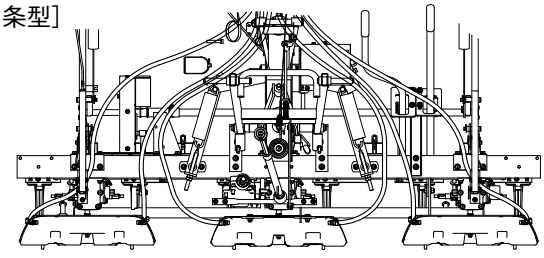
❸　植付部をゆっくり上下させ，ホースの長さが適切か，また，ホースに引っかかりやねじれがないか確認します。

〈ホースの通し方〉※前方より見た図

［５条型］

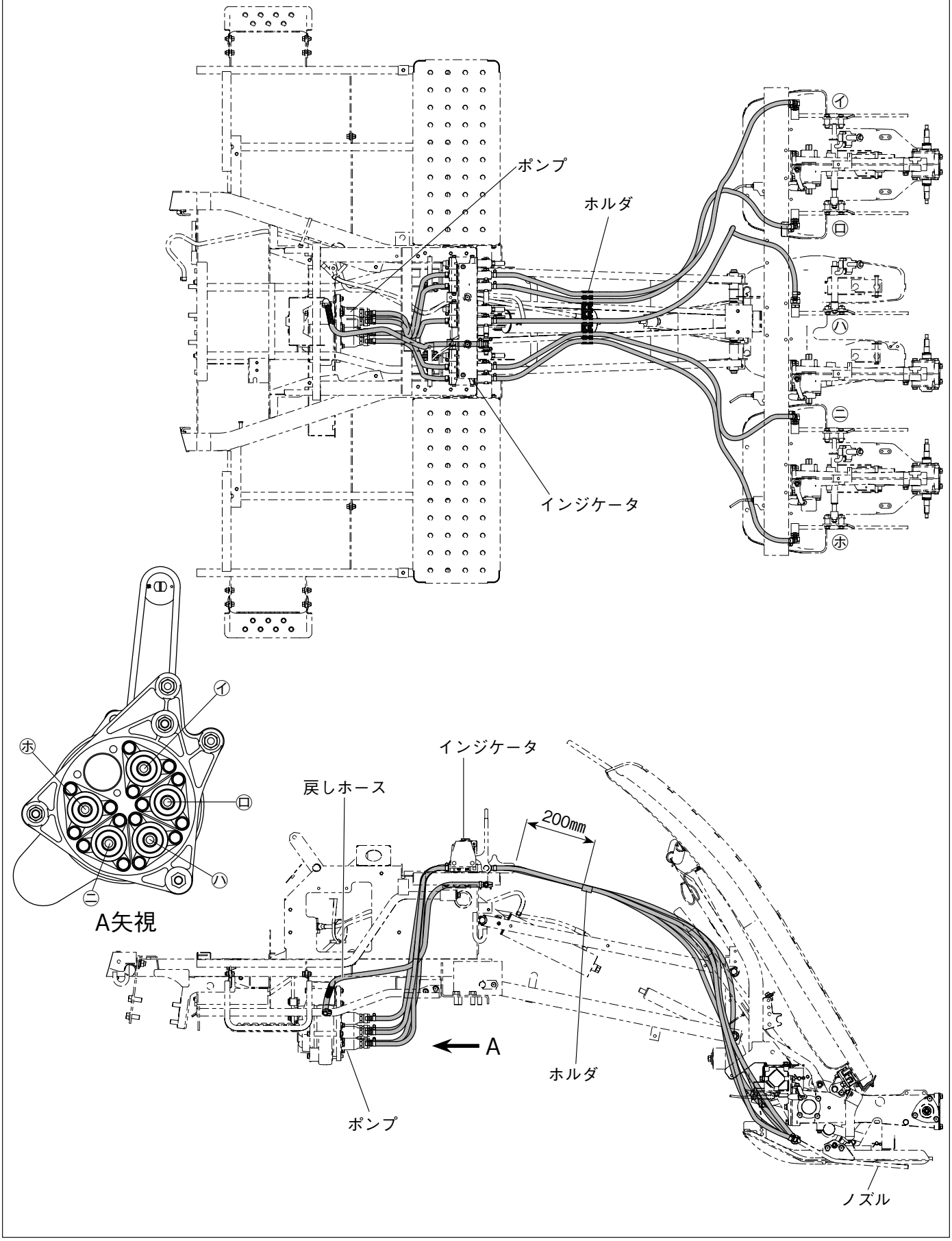


［６条型］

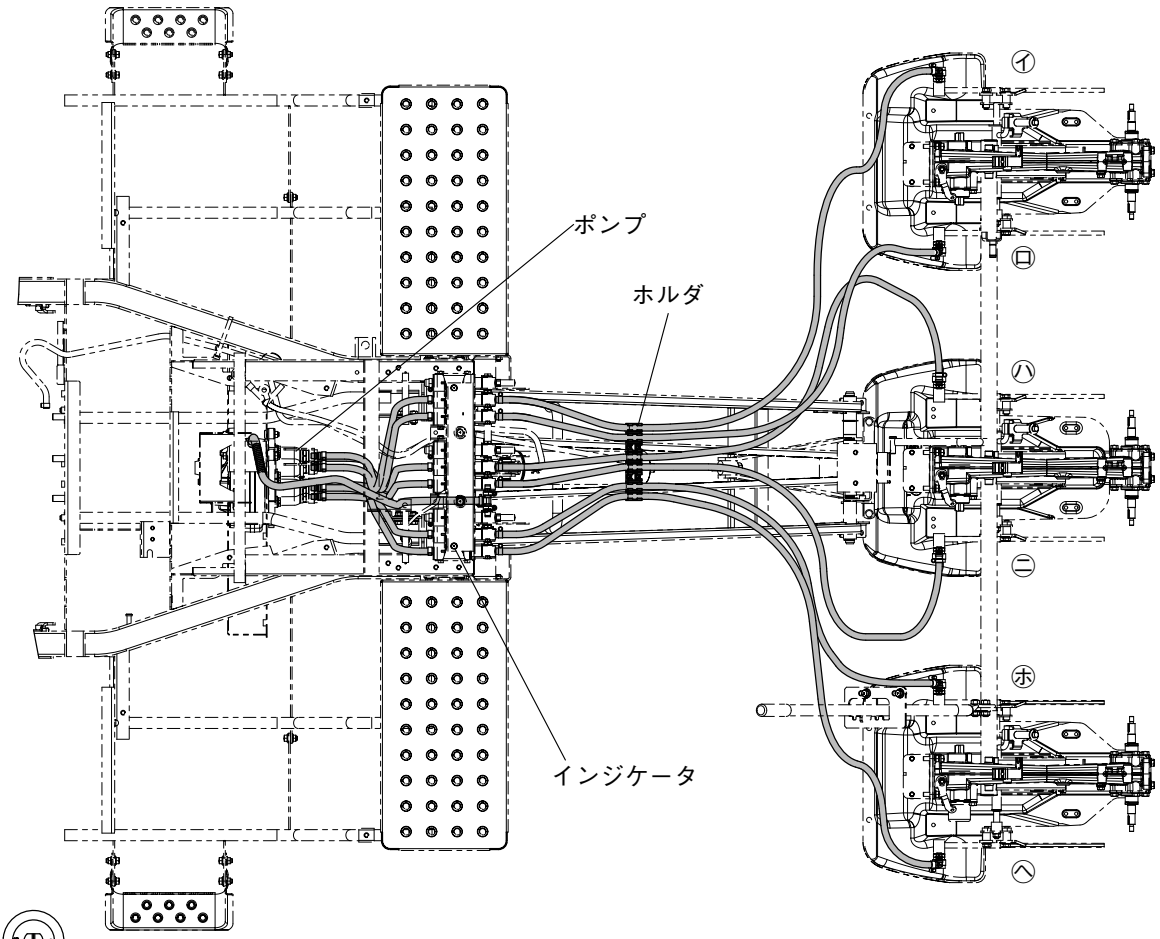


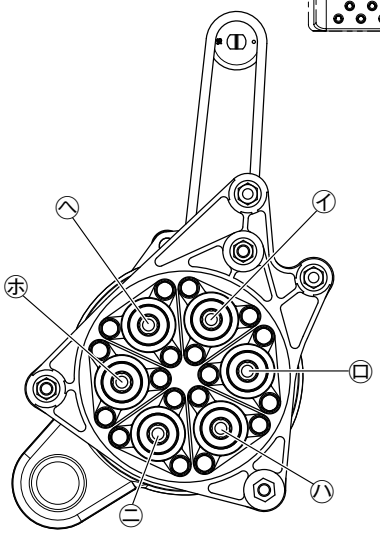
11. 配管図

［5条型］

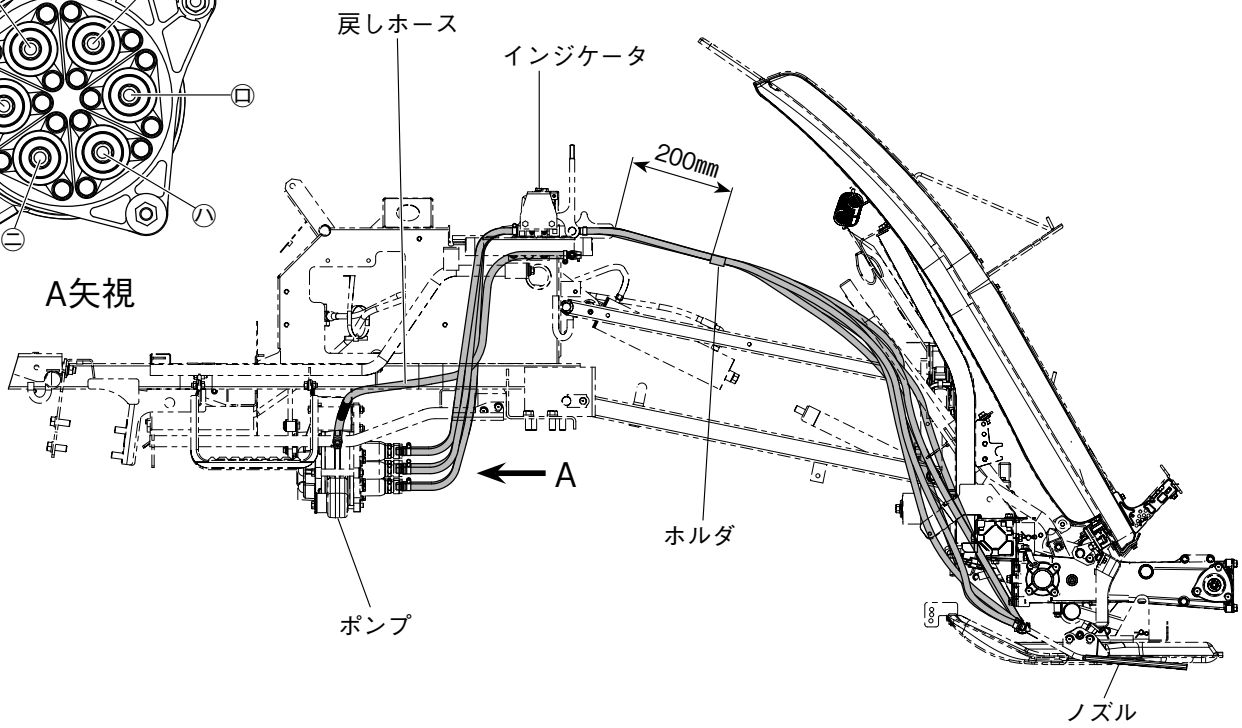


［6条型］


ポンプ
ホルダ
インジケータ
イ
ロ
ハ
ニ
ホ
ヘ


ヘ
イ
ホ
ロ
ハ
ニ

A矢視


戻しホース
インジケータ
200mm
A
ホルダ
ポンプ
ノズル

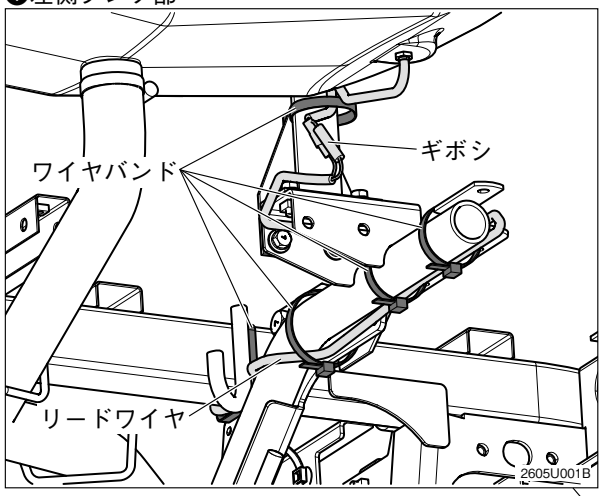
12. 電装関係の取付け

❶ リードワイヤのギボシ側を左タンクの肥料警報センサと接続し，他端のコネクタ（２極）とメインハーネスコネクタを接続します。リードワイヤのギボシ側を右タンクの肥料警報センサと接続し，他端のコネクタ（２極）とメインハーネスコネクタを接続します。

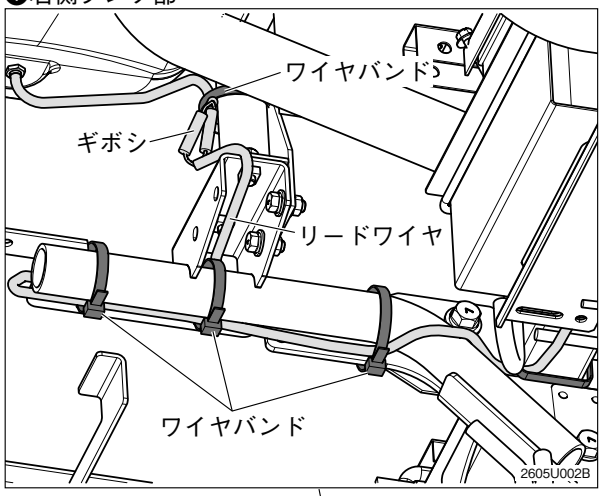
❷ 回転センサ（ペーストポンプ回転検出）のコネクタ（２極）を本機フレーム下部を通し，メインハーネスのコネクタと接続します。

❸ インジケータのコネクタ（３極）とメインハーネスのコネクタを接続します。

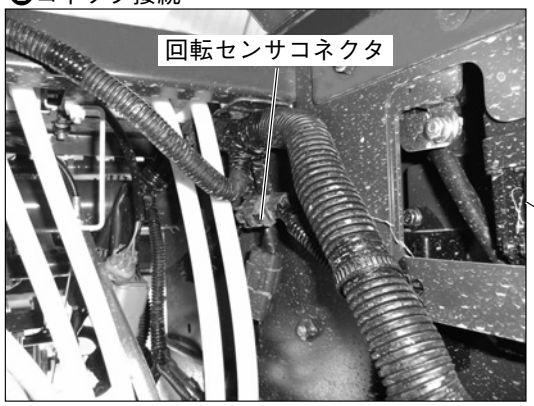
❶左側タンク部

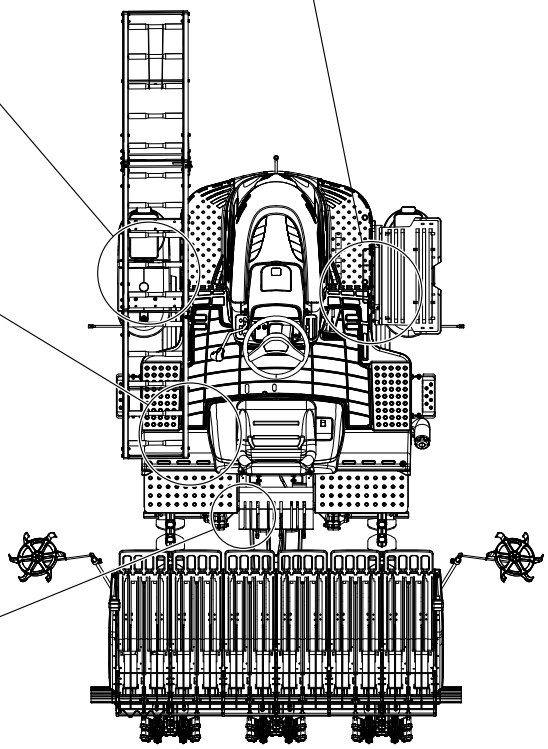


❶右側タンク部

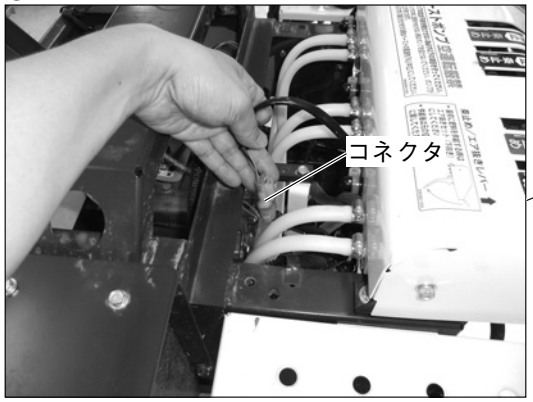


❷コネクタ接続

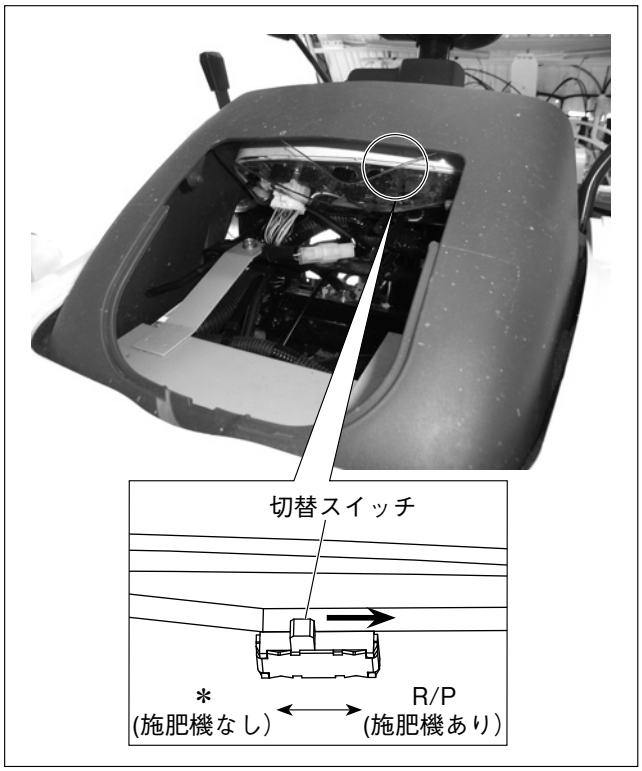




❸インジケータ接続



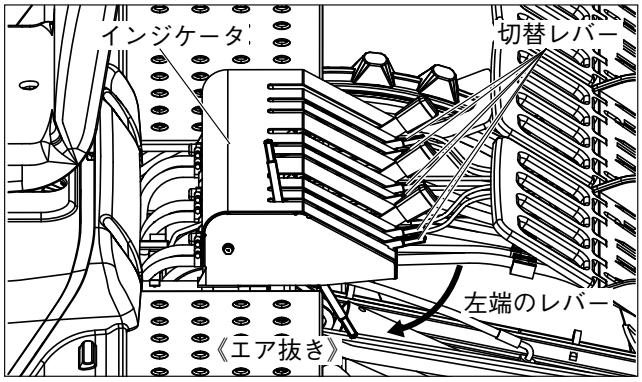
❺ メータパネル前部のカバーを外します。メータパネルの裏に切替スイッチがあるのでR/P側にスイッチを操作します。



13. ＰＴＯクラッチの調整

❶ 調整前にタンク内に水を入れます。

・インジケータ横の左端のレバーをエア抜き側にセットし，供給後は施肥作業位置に戻します。



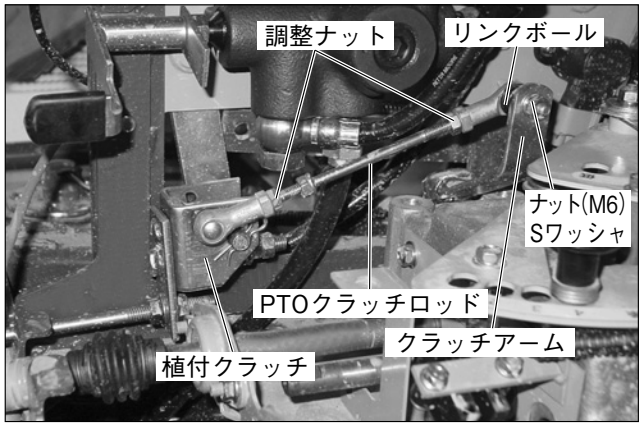
❷ クラッチアームとＰＴＯクラッチロッドの接続を外します。

❸ 本機の副変速レバー……「**N**」(**中立**)
エンジンコントロールレバー…「**低速**」
主変速レバー……「**前進**」低速
ペースト施肥機の主変速……「**1**」
副変速……「**低**」

エンジンをかけ，上記の条件にセットし，植付部を駆動させ（植付け爪を数回動かす)，植付クラッチが入った状態で警報スイッチを押しながらエンジンを止めます。

❹ PTOクラッチロッドのリンクボールがクラッチアーム側の穴にスムーズに抜き差しできることを確認します。できないときはクラッチロッドのナットをゆるめロッドを回して長さを調整します。

❺ クラッチロッドのリンクボールをクラッチアームに取付けナット(Ｍ６)とＳワッシャで取付けてから，エンジンを始動し，植付クラッチに連動して，ペーストクラッチが働くことを確認します。



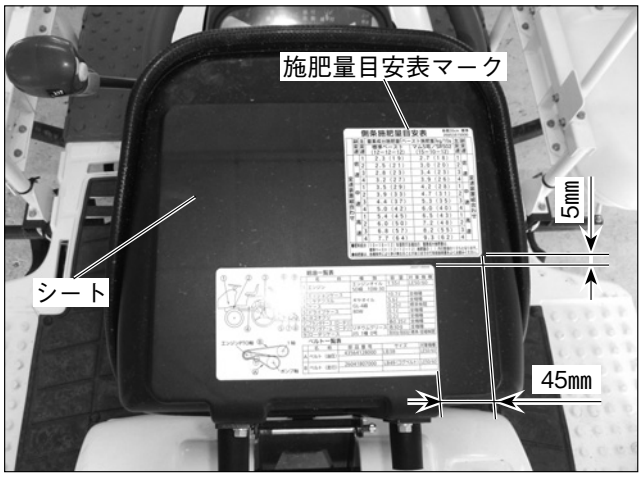
14. 外装の取付け

2. 本機の準備 と逆の手順で取付けます。

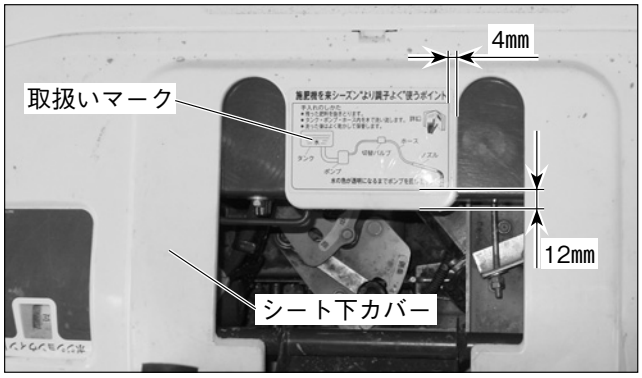
❶ リヤステップカバーを取付けます。
❷ 条止めカバーを取付けます。
❸ シート下カバーを取付けます。
❹ シートを取付けます。
❺ パネルリヤカバーを取付けます。
❻ コラムカバーを取付けます。

15. マークの貼付け

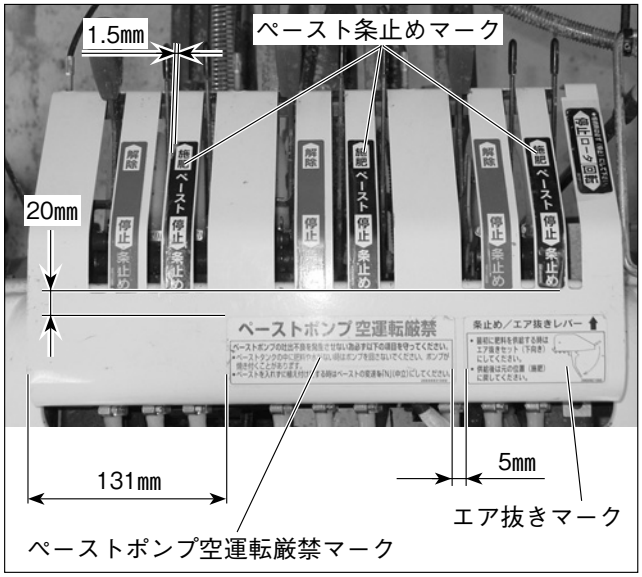
❶ シートの後ろに施肥量目安表マークを貼付けます。



❷ シート下カバー上面に取扱いマークを貼付けます。



❸ 左・右の条止めカバーにペースト条止めマーク，右側の条止めカバーのみにペーストポンプ空運転厳禁マーク，エア抜きマークを貼付けます。



16. 組立後の確認

組立て後，つぎの点をチェックします。

❶ 各取付部のボルト・ナット類が確実に締付けてあるか確認します。

❷ 各ホース・パイプが確実に取付けてあるか確認します。

❸ 各配線が確実に取付けてあるか確認します。

❹ 各ホース・パイプ・配線が作動部に接触していないことを確認します。

❺ 植付部を上下動させ，パイプや配線の引張りのないことを確認します。

❻ インジケータの条止めランプの作動をランプ点灯にて確認します。

❼ 肥料警報センサの作動をランプ点灯・ブザー音にて確認します。

17. ノズルゲージの使い方

※取扱説明書（**手入れのしかた** －各部の点検と掃除のしかた－ノズル深さの点検）を参照ください。